

環境対応車を積極導入



ネクスト

奈良 昌紀さん

【北海道】創立5周年を
迎えたネクスト（岩村大樹
社長、北海道北広島市）の
北海道・関東支店、苫小牧
営業所は2008年に安全
性優良事業所認定（Gマー
ク）、10年にグリーン経営
認証を取得、現在も更新し
ている。

北海道支店の奈良昌紀支
店長は「安全確保と環境保
全は、当たり前前の時代。対
外的なメリットよりも安全
性、品質向上に主眼を置
き、より良いサービスを目
指し取得した」と話す。

同支店の保有車両数はト
レーラヘッド17両、シャシ
129両で農産物や製材
などをメインに道内や関
東、関西への輸送を行う。
年4回の安全会議では外
部講師を招き入れ、仕事の
手を休めてでも全員が参加
する。さらに、毎月個人別
指導を行い、細部まで安全
意識を浸透させ、事故防止
に努める。また、全車にデ
ジタルタコグラフを装備、

エコドラ推進15条も実施

6月にはドライブレコーダ
ーも導入する計画。

「Gマークやグリーン経
営認証の取得は、ドライバ
ーよりも安全管理を担う事
務職への影響が大きい。環



境への取り組みや、安全指
導への意識が一層高まっ
た」と強調する。

環境対策では、自社で定
めたエコドライブ推進15条
を実施するとともに、シャ

シー全車の代替を進めてい
る。新車を昨年20両、こと
しも8月に20両導入し、ウ
イングセミトレーラは全て
リフトアックスル、エアサス
ペンション搭載車になる予
定。リフトアックスル搭載車
に切り替えることで、タイ
ヤの摩耗を防ぐと同時に燃
費向上と二酸化炭素（CO₂）削減を図る。

「環境に配慮した車に入
れ替えることで、サービス
と燃費の向上、コストダウン
になる。トラックに求め
られるものは増え続ける
が、全員で安全輸送を支え
認定を継続していきたい」と
語る。（北原 進之輔）